

平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	医政局国家試験等電算化経費		担当部局庁	医政局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	昭和55年度～		担当課室	医事課		課長:田原克志		
会計区分	一般会計		施策名	IV-1-2 医療需要に見合った医療従事者を確保する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	(1)医師等国家試験業務において、国家試験業務の迅速化を図るとともに、各試験委員の試験問題の作成支援等のために、プール制に伴う試験問題の蓄積・編集を行う。 (2)合格者データ等を電子化することによる新規免許登録事務の迅速化及び紙媒体である登録者籍簿を電子化することにより、籍訂正事務の効率化並びに医師等資格確認検索システムの運用によって、国民の生命・健康の保護に寄与すること。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	別添のとおり							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算	121	150	113	248	213	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	121	150	113	248	213	
		執行額	95	150	76			
	執行率(%)	78.5%	100.0%	67.3%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	医療施設従事医師数 平成18年:263,540人、平成20年:271,897人 (103.2%) ※医師・歯科医師・薬剤師調査より(2年ごと)		成果実績	人	-	280,431	-	前回調査以上
			達成度	%		103.1		
	就業看護職員数 ※医政局看護課調べ		成果実績	人	1,397,333	1,433,772	1,470,421	前年度以上
		達成度	%	101.4	102.6	102.6		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	医師等10職種受験者数		活動実績 (当初見込み)	人	103,253	106,757 (106,196)	108,476 (105,889)	- (115,320)
	医師等10職種合格者数		活動実績 (当初見込み)	人	89,895	91,866 (93,110)	94,321 (93,905)	- (99,941)
単位当たりコスト	701(円/受験者1人あたり)		算出根拠	平成23年度執行額/平成23年度受験者数				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	免許登録電算化経費	32	124	システム再構築(国家試験問題検索等システム等)の終了による削減、及び新たなシステム改修(医師等資格確認検索システム等)による増				
	国家試験業務電算化経費	80	89					
	国家試験問題検索等システム再構築経費	100	-					
	国家試験問題Web公募システム再構築経費	35	-					
	計	248	213					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・国家試験を適性の実施し、合格者の免許登録に資するものであるため、優性度が高い事業である。 ・機密性の高い事業であるため国で実施する必要がある。 ・必要に応じて理由を把握するよう努めている。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・入札を行い支出先を決定しているため、競争性が確保されている。 ・毎年削減に努めている。 ・事業目的に則したものにのみ支出を行っている。 ・合理的であり、かつ必要なものに限定されている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・国家試験を適正に実施する上で実効性の高い事業となっている。 ・成果目標は適正であり、着実に実施されている。 ・活動実績は概ね見込みにあったものである。 ・試験問題作成のため年間通じて使用している。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>例年、予算額と執行額の乖離の理由を分析し、予算要求に反映させてきたところであり、執行率は高くなってきており、予算規模としては概ね妥当な水準であると思われる。今後は、執行においては、業務の効率化や一般競争入札によるコスト削減に取り組むこととしているが、予算要求に当たっては、国家試験制度の改善、厳格な試験の実施、免許申請の審査の更なる迅速化に伴うコスト増も勘案し、更に予算額を精査することとしたい。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>医政局国家試験等電算化経費については、国家試験問題の作成支援等を行うためのものであり、必要性や執行の観点からの評価も概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めるべき。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
削減	<p>予算監視・効率化チームの所見は「現状通り」であるが、国家試験問題検索等システム等の削減による減額要求を行った。(全体で約35百万円)</p>		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	78	平成23年行政事業レビュー	0064

厚生労働省
75百万円

〔国会試験業務及び免許登録業務の迅速化を
図るための電算化に必要な経費〕

【一般競争入札】

A. 株式会社等(6)
66百万円

B 事務費
10百万円

〔免許登録管理システム機器更新・アプリケーション改修等〕

〔賃金等〕

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.新日鉄ソリューションズ(株)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	医師等資格確認検索システム等運用 保守業務	29			
計		29	計		0
B.個人A			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
賃金等	事務補佐員雇上経費	3			
計		3	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	新日鉄ソリューションズ(株)	医師等資格確認検索システム等運用保守	29	2	95
2	(株)東計電算	医師外9職種国家試験出願願書等電算処理業務	21	3	70
3	(株)ケー・デー・シー	免許登録管理システム運用保守	8	2	87
4	三菱電機(株)	Web公募システム運用保守	6	1	99
5	北電情報システムサービス(株)	登録済証明書印刷機能保守及び運用支援業務	1	2	98
6	(株)ジムマネジメント	登録済証明書プライバシー保護に係る機器等保守	1	2	99

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	事務補佐員雇上経費	3		
2	個人B	事務補佐員雇上経費	3		
3	個人C	事務補佐員雇上経費	3		

【事業概要】

医政局国家試験等電算化経費

<p>事業概要</p>	<p>(1)医師等国家試験業務において、受験者データ、採点、合否判定データ等を電算化し、試験事務を迅速化するとともに、医師等国家試験の試験作成委員会において、試験問題の作成支援のため、既出問題、公募問題をプールしたものを使用し、試験問題を作成し、今後の試験問題作成支援のため良質な試験問題を揃えておくもの。</p> <p>(2)医師等14の医療関係職種については、合格発表(毎年3月下旬から4月上旬)直後に約9万人の免許申請が医事課試験免許室に集中するが、合格者データ等を電子化することにより速やかな新規免許登録に資する。また、紙媒体である登録者籍簿の電子化により、年間5万人を超える氏名等の訂正(籍訂正)事務の効率化を図る。さらに、平成19年度から稼働している医師等資格確認検索システムにあっては、ホームページ上で医師等の氏名を検索できるようにすることにより、国民が医師等の資格を確認できるようにし、医師等でない者からの医療の提供を避けることを可能とする。</p>
-------------	---